

# 大館市の維持向上すべき歴史的風致(案)

## ①大館ばやしの音色が響く大館城下



江戸時代の町割りにより配置された寺社が戦火を乗り越えて、現在も同じ場所にあり、城下町の面影を残しています。

また、お盆を過ぎる頃になると、周辺では400年以上続くと言われる大館囃子を練習する音が聞こえてきます。

## ②鳳凰山大文字



3画の総延長が450mにも及ぶ巨大な大文字は四季折々の表情を見せ、独特の風致を形成しています。8月16日には先祖の供養と市の発展を祈願する大文字焼きと祭りが行われます。

## ③浅利氏の史跡が残る比内



大日神社は「ダンブリ長者物語」発祥の地とされ、鹿角市小豆沢、長牛と3社の大日堂としてあがめられています。また、甲斐の国から移ってきた浅利則頼が築城した十狐城跡があり、築城の際に踊ったとされる「独鉦囃子」は今も地域で受け継がれています。

## ④矢立峠に続く羽州街道



秋田と青森の県境に位置する矢立峠には、天然秋田杉が風景林として残され、文化庁の「歴史の道百選」に選ばれています。

## ⑤長木川溪谷沿いの小坂鉄道軌道跡

明治39年に開設、平成21年に廃止された小坂鉄道の軌道などが残されていて、平成26年に市に寄贈されました。

沿線には長木川溪谷や温泉があり、軌道を利用したレールバイクは観光資源として定着しています。



## ⑦田代岳(田代山神社)の作占い



田代岳山頂付近にある湿原には神聖視される池塘があり、毎年半夏生の日には作占いが行われています。

参拝者は笹とツゲを持ち帰り、田の水口に立てて虫よけにするとという習わしが今も続いています。

## ⑧大館曲げわっぱの伝統工芸職人

江戸時代末期から続く「大館曲げわっぱ」の技法

は現在の職人に受け継がれ、職人は独自のデザインや美しい仕上がりの伝統工芸品を生み出しています。

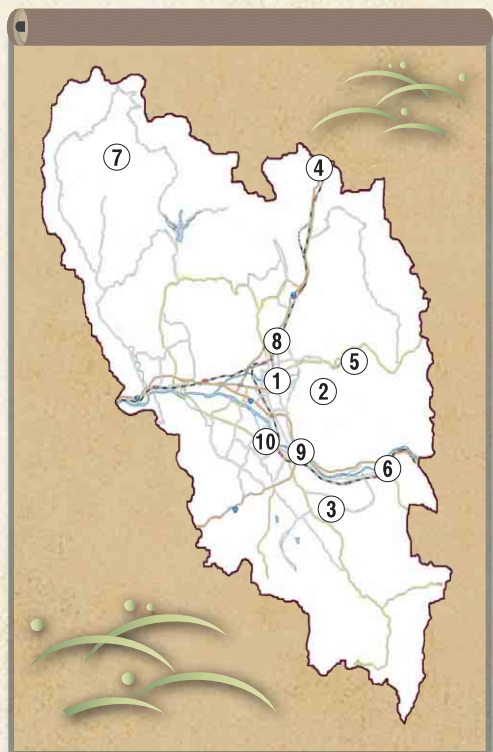


## ⑨扇田神明社祭典



扇田神明社は戊辰戦争の際に焼失し、明治7年に現在の社殿が再建されました。

佐竹侯秋田入部の際、常陸国から移したとされるみこしを拝領に行ったのが白丁の人々で、その子孫は現在も祭典で重要な役目を受け継いでいます。



## ⑩十二所城下

十二所城は、江戸幕府の一国一城令により、1620年に破却されました。

かつて城下町を形成した屋敷割の痕跡や藩士子弟の教育を担った成章書院跡、城代を務めた茂木家の墓が残っていて、地域の住民によって守られています。



## ⑪奥州藤原氏終焉の地



源頼朝に追われ、誓の柵で果てた藤原泰衡の遺体を埋葬した場所が、後に錦神社となりました。

八木橋の五輪台には、泰衡を追い自害した奥方の話しが伝わり、西木戸神社として祭られています。

市では、歴史的風致維持向上計画について出前講座を行っています。詳しくは歴史まちづくり係にお問い合わせください。